

あけましておめでとうございます。新しい年がはじまります。

今年は無(羊)年。教育界では、高校での新教科「公共」が検討され、センター試験に代わる新共通試験の導入が本決まりとなるなど、大きな変化が訪れようとしています。経済教育にも当然影響が出てくる可能性があります。

そんな変動のなか、「迷える羊」とならないように、しっかり足元をみつめながら進んでゆきたいと考えています。今月もネットワークの活動を報告するとともに、授業に役立つ情報を提供いたします。

【 1 】 最新活動報告

12月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの活動の予定などを紹介します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

11月から12月に行われた部会の様子を報告します。

■大阪部会 (No. 41) を開催しました (既報)。

日時：2014年11月29日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト

内容の概略：出席者12名。

(1) 野間敏克先生(同志社大学) および篠原総一代表から最近および今後の活動報告がありました。

(2) 山本雅康先生(奈良学園中高) から以下の三つの授業実践報告がありました。
①前回報告の「マンションの耐震化工事」公共財ゲームのグループワーク授業に対する、生徒たちからの感想。②文化遺産登録、絶滅危惧種の保護、漁獲量の国家間協定の意義などを考えさせる教材が紹介されました。個人の身の回りで起きそうなマンション耐震化工事の話よりも、国際的な、漁獲量協定の話などの方が、「公共財」の大切さと困難さを理解しやすいよだとの指摘があり、それを巡っての討論が行われました。③「先生のための夏の経済教室」を授業に活かした例として、アベノミクスに関連する自作の試験問題が紹介されました。

(3) 李洪俊先生(大阪市立長吉中) から、自身で作成・実施した公民の試験問題が紹介され、生徒の反応なども報告されました。

(4) 奥田修一郎先生（大阪狭山市立南中）から、授業内容と試験問題との関係についての新しい提案がありました。試験で評価するという観点に加えて、試験問題から授業がどうイメージできるかを検討したらという提案でした。奥田先生は実際に、全国公立高校の入試問題のなかから、いくつかの特徴的な入試問題について、その問題の背後には、どのような授業構成が考えられるかを示した資料を紹介されました。内容的に、興味深く現場教員への恩恵が大きい試みと考えられますが、残念ながら十分に時間がとれなかったため、あらためて議論の機会をもうけたいという提案がありました。

(5) 河原和之先生（立命館大学等）から、日本経済教育センターの地理教材の最新版「カナダを知ろう」が紹介された、インド、ブラジル、南アフリカ、ASEAN と作成されてきたシリーズの一環。オーストラリアも作成してはという要望もでてきました。

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka41report.pdf>

■東京部会（No. 71）を開催しました。

日時：2014年12月4日（木） 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部

内容の概略：出席者14名

- (1) 1月予定の「冬の経済教室」の進捗状況の報告がありました。
- (2) 2月実施予定の「経済教育ワークショップ川口」の進捗状況の報告が大川先生（仲町中学校）からありました。
- (3) 3月実施予定の「年次大会」の取り組みの報告が中川雅之先生（日本大学）からありました。法教育と経済教育の対話の4回目として、「年金制度をどう教えるか」のテーマで、経済学関係と法学関係の出席者との交渉を行っていることでした。
- (4) 夏の「経済教室」の準備状況の報告が石山晴美氏（東京証券取引所）からありました。
- (5) 篠原総一代表から、各部会の報告、教材作成の状況などの報告がありました。
- (6) 実践報告関係では、埴先生（都立府中東高校）の「アリとキリギリス」の授業案の改定版が検討されました。今回は、の機会費用と不確実性という2つの概念を押さえながら多面的な見方や金融や貯蓄の意味を生徒に理解させようとする授業案でした。不確実性だけで授業を再編した方がよいのではという意見や、

異時点間の代替関係を示す無差別曲線を軸にするという整理案も出され、さらに内容を検討することになりました。

(7) 11月の部会で提案されたテスト問題の検討が行われました。今回は、大倉泰裕先生（松戸向陽高）と新井（小石川中等）の2人の考査問題が資料として提示と検討が行われ、これからも継続して検討を行うことが確認されました。また、篠原代表からは、どうまとめて、発信してゆくのかが課題だろうという提起がされました。

(8) 前回の部会で篠原代表から提起された「経済教育のそもそも論」の自由討議が行われました。その時の発言の一部を紹介しておきます。

- ・ネットワークの活動によって経済教育が改善された部分もあるが、やたらに細かい知識が教科書に入って来たり、現在の時点で何を教えるのか改めて考える必要がある。（篠原）

- ・原理が分からないと教えるほうも丸暗記の強要になってしまう。難しいことを教える必要はなく、心から納得できるものを教える。経済教育ではそれ伝えたい。（中川）などです。その他の意見は下記のHPから確認してください。

最後に篠原代表から、経済は身近だが難しいというが、本当は経済は見えないものだ。その見えないものをしっかり教えるためには、細かい知識の氾濫に歯止めをかけ、骨組みとなるようなスタンダードが必要になるだろう。その内容をもう少し検討してゆきたい、とのまとめがあり、今後の課題とすることになりました。

内容の詳細は以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo071report.pdf>

■京都部会（No. 27）を開催しました。

日時：2014年12月13日（土）17時00分～19時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

内容の概略：出席者7名

(1) 篠原総一代表者から来年当初の実施予定のスケジュールと各部会で報告された資料の紹介がありました。

(2) 上畑直久先生（京都市総合教育センター）から社会科学習指導案として「古都奈良・京都と歴史的景観の保全」が紹介されました。生徒たちに歴史的景観を保全することの大切さは直感的に理解できるが、それを経済的な評価に結び付けて理解させることの難しさが指摘された。

(3) 中藤勉先生（東宇治高）と下村和平先生（山城高）から高等学校で出題した

政治・経済の試験問題が紹介された。出題形式により正答率が違うこと、複数の教員で科目を担当している場合、試験問題を作成する調整が大変などの報告がありました。

内容の詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto027report.pdf>

【 2 】 イベントカレンダー

*これからのイベントを開催順に紹介します。

■先生のための冬の経済教室を開催します。

日時：2015年1月31日（土）13時00分～16：30分

場所：椙山女学園大学現代マネジメント学部棟2階205講義室

企業の教え方、企業の役割を巡って、梶ヶ谷穰先生（神奈川海老名高）の報告と金井 司氏（三井住友信託銀行 CSR 担当部長）の講演があります。また、名古屋部会の立ち上げについての話し合いも予定されています。

内容の詳細、参加方法などは以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/keizaikyousitu/2014%20keizaikyoushitsu/2015Winter%20Nagoya.pdf>

■ワークショップ川口を開催します。

日時：2015年2月14日（土）13時00分～16：00分

場所：埼玉県川口市立仲町中学校 会議室

大杉昭英先生（国立教育政策研究所）の講演と三枝利多先生（目黒東山中）の授業提案があります。

内容の詳細、参加方法などは以下の HP をご覧ください。

http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/WS_Kawaguchi20150215.pdf

■年次大会を開催します。

日時：2015年3月28日（土）

場所：日本大学経済学部

テーマ：法教育と経済教育の対話④一年金問題をどう教えるかー

中川雅之先生をコーディネータとして、経済学者、法学者、現場教員の問題提起とパネルディスカッションを予定しています。

出席者の詳細が決まり次第 HP にアップいたします。

*これからの部会を開催順に紹介します。

■東京部会 (No. 71)を開催します。

日時：2015年1月22日(木) 19時00分～21時00分

場所：日本大学経済学部

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo072flyer.pdf>

■札幌部会 (No. 11) を開催します。(既報)

日時：2015年1月31日(土) 14時30分～17時00分

場所：キャリアバンク セミナールーム

sapporo55 5階 (JR札幌駅紀伊国屋のビル)

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/Sapporo/Sapporo012flyer.pdf>

■京都部会 (No. 28)を開催します

日時：2015年2月20日(金) 19時00分～21時00分

場所：同志社大学 良心館4階第二共同研究室

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto028flyer.pdf>

■大阪部会 (No. 42)を開催します

日時：2015年2月28日(土) 18時00分～20時00分

場所：同志社大学 大阪サテライト(予定)

大阪市北区梅田1-12-17 梅田スクエアビルディング17階

参加方法などは以下のHPをご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka42flyer.pdf>

【 3 】 授業のヒント

■経済かるた、もしくは川柳の作成

一年の計は元旦にあり。それと同じように、新年には何かスローガンのようなものがふさわしいかもしれません。生活面でのスローガンはHRにまかせて、授業では経済かるたもしくは川柳を作ってみませんか？

かるたは「いろはかるた」の要領で作ります。例えば「論より実行、第三の矢」などが浮かびます。クラスのメンバーにそれぞれ担当の字を割り当てて頑張って、全部の言葉でつくってみることもよいかもしれません。そこまでやらなくても、取り組みやすいあたまの字で作らせて、経済に関心が向くようになれば大成功です。

同じように、経済川柳はどうでしょう。例えば「総中流気付いてみれば格差社会」。字余りですがまあお許しを。こちらは5・7・5にはまるように言葉を選ばな

ければいけないので、かるたよりちょっと難しいかもしれません。個人で作らせてもよいし、グループで作らせてもよいでしょう。川柳でなく狂歌までゆけば大したものです。

授業時間で作らせるのが難しければ、あらかじめ予告して期末考査などで書かせるのもまた良しです。どちらも作品を作るだけでなく、背景となる事実や「そのころ」を合わせて書かせることもお忘れなく。

ちなみに、日本国憲法の学習でもかるた、川柳を作らせる学習活動は活用可能です。(新井)

【 4 】編集後記 (みみずのたはこと)

今年は戦後 70 年。さまざまな歴史的な振り返りが行われるはずですが、そんなこともあり、正月に世界史の教科書 (T0 社のもの) を通読してみました。さすがに一日で全部通読はできず、二日かかってしまいました。細かい史実は頭の中に入れて来ませんでしたが、現在の問題は過去にその原因があり、ということが浮かび上がってきます。

また、歴史のとらえ方そのものが、西洋中心からネットワーク論、グローバル論へと変わってきていることが教科書の構成やコラムなどからあらためて確認できました。経済を学ぶには歴史、理論、政策の三つからアプローチする必要性を改めて感じた正月休みでした。

今回は日本史教科書に挑戦してみよう。(新井)

=====
登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

————— (C) Network for Economic Education ◆◇